

# YAMAHA GUITAR/BASS AUTO TUNER YT-1200

OWNER'S MANUAL  
MODE D'EMPLOI  
BEDIENUNGSANLEITUNG  
取扱説明書

YAMAHA  
YAMAHA CORPORATION  
PO Box 1, Hamamatsu, Japan  
Printed in Hong Kong

このたびはヤマハ・ギター/ベースオートチューナーYT-1200をお買い求めいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

## ■ご使用になる前に

### ◆使用する場所

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。  
・直射日光の当たる場所  
・温度や湿度が非常に高い場所や低い場所  
・砂やホコリの多い場所

### ◆電源について

YT-1200は、6F22(006P)乾電池または別売のYAMAHA ACアダプターAC-05、AC-320で動作します。他のACアダプターを使用された場合、故障の原因となることがあります。必ず極性の正しいもの(→④→+)をお使いください。

ご使用にならない時は、必ずパワースイッチをOFFにしておいてください。また、電池の液漏れを防ぐため、長時間ご使用にならない時は、電池を取り出しておいてください。

※パワースイッチがOFF以外の場合は、ピッチインジケータの左端が点灯します。

### ◆取り扱いをやさしく

スイッチなどに無理に力を加えたり、本体を落としますと故障の原因となりますのでご注意ください。

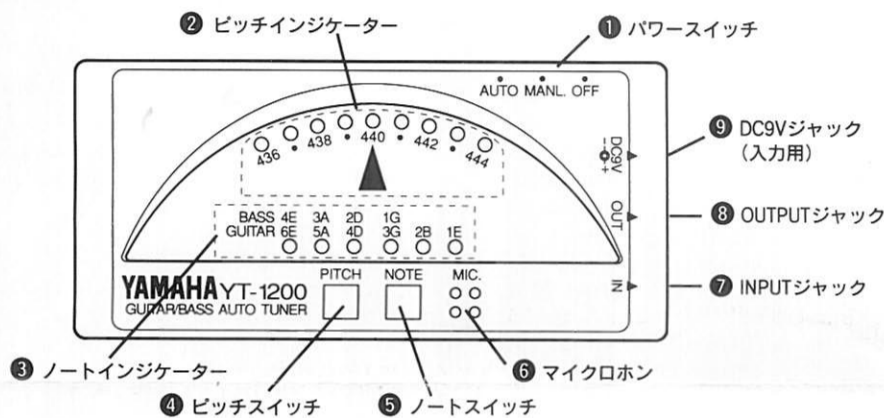
### ◆お手入れ

外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナー系の液体、強燃性のポリリッシャーなどは絶対にご使用にならないでください。

### ◆保証書の手続き

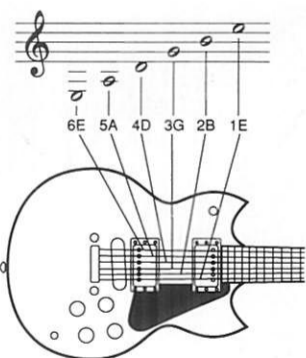
製品をお買い求めいただいた日より1年間は保証期間となり、修理料金は無償とさせていただきます。ただし、保証書に販売店印、購入年月日の記入がありませんと、保証期間中でもサービスが有償となる場合があります。必ずお求めになった販売店で保証書の手続きを行なった後、大切に保管してください。

## ■各部の名称



## ■仕様

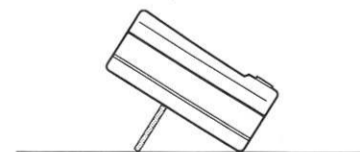
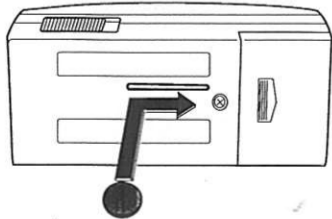
**表示** : ノートインジケータ、ピッチインジケータ  
**音名** : ギター 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E  
 : ベース 4E, 3A, 2D, 1G  
**精度** : ±1セント  
**標準ピッチ範囲** : A4=436~444Hz(1Hzステップ)  
**付加機能** : バッテリーチェック機能  
**端子** : INPUTジャック、OUTPUTジャック、DC9Vジャック  
**電源** : 6F22(006P)9V乾電池  
 : 別売ACアダプター(AC-05またはAC-320)  
**外形寸法** : 127(W)×63(D)×28.5(H)mm  
**重量** : 127g(乾電池含む)  
**付属品** : 6F22 9V乾電池×1



※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■チルトスリットの使い方

本体裏側のスリットは、チューナーを傾けて使うためのものです。下図のようにコイン等をセットしてお使いください。



### 持込修理

### 保証書

この度はヤマハ・ギター/ベースオートチューナーをお買い上げ戴きました。本書は、本書記載内容で修理を行なう事をお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。(詳細は裏面をご覧ください)

品名	ギター/ベースオートチューナー	品番	YT-1200
保証期間	本体: お買い上げの日から1年間	※お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒	※店名	印
	お名前	住所	
	電話 ( )	販売店	電話 ( )

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しいたください。

### 修理(サービス)メモ

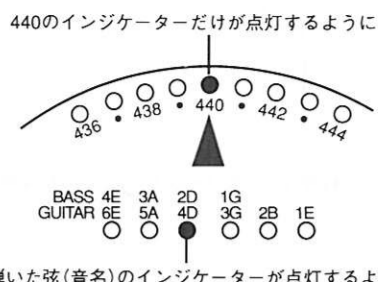
年月日	内容	担当者	印

ヤマハ株式会社 LM営業部  
ギター・ドラム営業課  
〒430 静岡県浜松市中区中沢町10番1号 053-460-2431

## ■チューニングの方法

### ●オートチューニング:(AUTO)

- 音を入力すると、その音に一番近い音名(弦)と、その音より高いか低いかを自動的に表示します。
- エレキギター/ベースの場合はINPUTジャック⑦にギターからのコードを接続します。(この時OUTPUTジャック⑧とアンプを接続しておけば、演奏中でもチューニングができます。)  
アコースティックギターの場合は、内蔵マイク⑥にギターのサウンドホールをできるだけ近づけます。  
※INPUTジャック⑦にプラグが接続されている時には、内蔵マイク⑥は作動しません。
  - パワースイッチ①を“AUTO”にセットします。
  - ピッチスイッチ④を押して、標準となるA4のピッチ(436~444Hz)を選択します。(“ピッチ設定”の項参照)
  - チューニングしたい弦を弾くと、その弦の音名のインジケータ②が点灯します。(2本以上の弦を同時に弾かないでください。)
  - その弦と違う音名のインジケータが点灯した場合は、ギターのペグ(糸巻)を回してその弦の音名が点灯するようにします。
  - ギターのペグ(糸巻)を調節して、ピッチインジケータ②の中央(440)だけが点灯するようにします。
  - 他の弦も同様に4~6の操作を繰り返してチューニングをします。



### ●マニュアルチューニング:(MANL.)

- あらかじめチューニングする弦(音名)をセットしておいてからチューニングするモードです。
- オートチューニングの場合と同様に、ギターを接続または内蔵マイク⑥に近づけます。
  - パワースイッチ①を“MANL.”にセットします。
  - ピッチスイッチ④を押して、標準となるA4のピッチ(436~444Hz)を選択します。(“ピッチ設定”の項参照)
  - ノートスイッチ⑤によりチューニングしたい弦(音名)を選びます。  
ノートスイッチ⑤を押すごとに、右図の順で弦名が変わります。
  - チューニングしたい弦を弾き、ピッチインジケータ②の中央(440)だけが点灯するように、ギターのペグ(糸巻)を調節します。
  - 他の弦も同様に4,5の操作を繰り返してチューニングをします。

6E → 5A → 4D → 3G → 2B → 1E  
(4E) (3A) (2D) (1G)

## ■ピッチ設定

標準となるピッチを設定します。各楽器のチューニングを合わせるために、ピアノの中央のラの音(A4=440Hz)が標準ピッチとして用いられます。この標準ピッチは地域や時代によって多少の誤差があり、近年ではやや高めめのピッチでチューニングされる事が多くなっています。

## ■ピッチ設定の方法

- パワースイッチ①を“AUTO”または“MANL.”にセットします。
- ピッチスイッチ④を1回押すと、現在設定されている標準ピッチ(A4:436~444Hz)を示すピッチインジケータ②が点滅します。
- インジケータ②の点滅中にピッチスイッチ④を押して、希望する標準ピッチを設定します。  
1回押すごとにインジケータ②の点滅位置が1ステップ(1Hz)ずつ移動します。

436 → 437 → 438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444

- ピッチスイッチ④を押す操作を止めた後、約2秒後に自動的にチューニングモードへ戻ります。

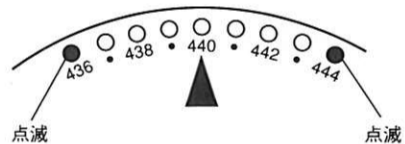
※パワースイッチ①を“OFF”にするまで、設定された標準ピッチは“AUTO”、“MANL.”いずれのモードでも有効です。パワースイッチ①を“OFF”から“AUTO”または“MANL.”にすると、標準ピッチは440Hzにリセットされ、約2秒間点滅表示します。

標準ピッチ(A4)を一度セットしたら、あとは各弦(音名)とも、ピッチインジケータ②の中央(440)だけが点灯するようにチューニングすればOKです。

## ■電池交換

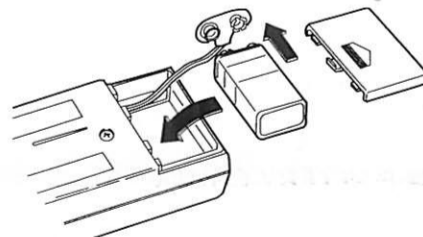
### ●バッテリーチェック

電池の残量が少なくなってくると、使用中にピッチインジケータ②の両端が点滅をしますので、お早めに新しい電池(6F22: 006P-9V)と交換してください。  
長時間ご使用になる場合は、別売ACアダプター(AC-05またはAC-320)をおすすめします。



### ●電池交換の方法

右図のようにして電池を交換します。電池の極性(+,-)を間違えないようにしてください。  
※電池の交換またはACアダプターの接続は、必ずパワースイッチ①を“OFF”にしてから行ってください。



## ■サービスについて

- 保証期間**  
本機の保証期間は、ご購入(保証書による)日より満1年(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は日本国内でのみ有効)と致します。
- 保証期間中のサービス**  
保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合があります。また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。
- アフターサービス**  
満1年間の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたら、お買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

### ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL (025) 243-4321
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL (03) 3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中区東木月1184 TEL (044) 434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上野町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新築屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 877-5262
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL (0878) 22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435 浜松市上野町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-1158

### ヤマハ株式会社LM営業部

ギター ドラム営業課	〒430 浜松市中区中沢町10番1号 TEL (053) 460-2431
東京支店LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3(矢島ビル) TEL (03) 3574-8592
関東支店LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3(矢島ビル) TEL (03) 3574-8592
大阪支店LM営業課	〒542 大阪府中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館) TEL (06) 252-5231
名古屋支店LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052) 201-5199
九州支店LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2130
北海道支店LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50(ヤマハセンター) TEL (011) 512-6113
仙台支店LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 TEL (022) 222-6147
広島支店LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18(ヤマハビル) TEL (082) 244-3749

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

## ヤマハ株式会社

LM営業部  
ギター・ドラム営業課  
〒430 静岡県浜松市中区中沢町10番1号  
053-460-2431

# YAMAHA

## GUITAR/BASS AUTO TUNER

# YT-1200

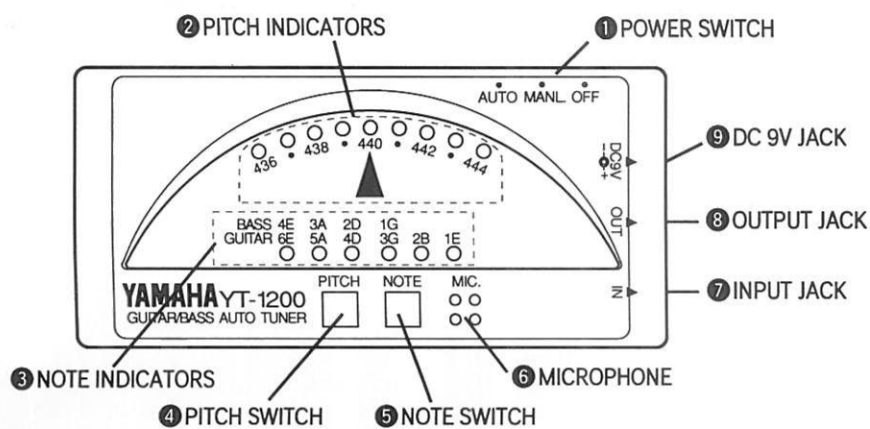
OWNER'S MANUAL

Thank you for purchasing the YAMAHA YT-1200 Guitar/Bass Auto Tuner.  
Please read this manual thoroughly and keep it in a safe place for future reference.

### PRECAUTIONS

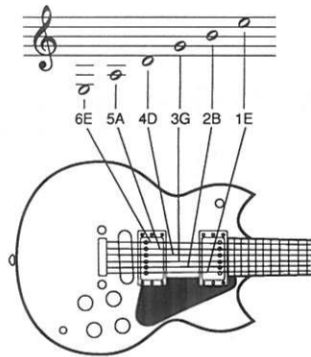
- To prevent damage, do not use the tuner in the following locations:
  - places where the unit will be in direct sunlight;
  - places subject to temperature and humidity extremes;
  - places that are sandy or dusty.
- To power the tuner, use only a 6F22 or 006P 9V dry cell battery or an optional YAMAHA AC-05UC or AC-320UC AC Adaptor. Other power sources may damage the device.
  - Before connecting the AC adaptor, make sure that the polarities of the plug and the jack match (- - +).
  - The PITCH indicator at the extreme left will light up unless the power switch is turned OFF.
- For maximum battery life, always be sure the tuner is turned OFF when not in use.
- To prevent possible damage due to leakage of battery fluid, remove the battery from the tuner if it is not to be used for an extended period of time.
- Do not subject the tuner to strong physical shock or vibration. Do not use excessive force on any of the parts.
- Never use solvents such as benzine or thinner to clean the tuner. Wipe clean with a soft, dry cloth.

### COMPONENTS



### SPECIFICATIONS

Indicators	: NOTE Indicators, PITCH Indicators
Tuning Notes	: Guitar 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E Bass 4E, 3A, 2D, 1G
Precision	: ± 1 cent
Standard Pitch Range	: A4 = 436 Hz — 444 Hz (1 Hz steps)
Added Function	: Battery Check
Jacks	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Power Source	: 9V dry cell battery (006P or 6F22) or YAMAHA AC adaptor (AC-05UC or AC-320UC)
Dimensions (WxHxD)	: 127 x 63 x 28.5 mm (5" x 2-1/2" x 1-1/8")
Weight	: 127 g (4.5 oz) with battery
Accessory	: 9V dry cell battery (6F22) x 1



\* Specifications and external appearance are subject to change without notice.

### BATTERY CHECK

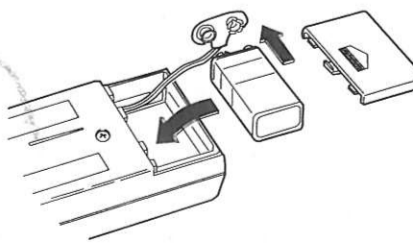
If the pitch indicators ② at both extreme sides are flashing when this tuner is in use, it shows that the time has come when the battery should be changed. In this case, please replace the battery with a new one (6F22:006P-9V) as soon as possible.

For convenience, the tuner has a DC 9V jack; please use an optional YAMAHA AC adaptor (AC-05UC or AC-320UC) wherever possible.

#### Battery Change

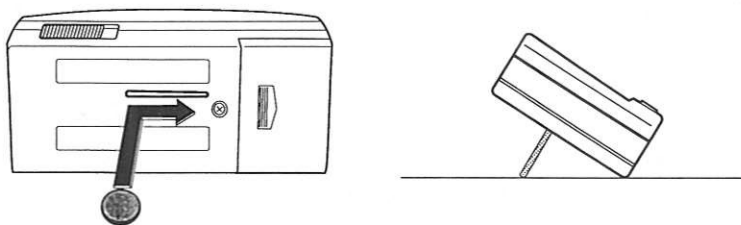
The battery compartment is in the rear of the tuner. Remove the old battery and replace it with a new one of the same type. Be careful to connect the battery in the correct polarity.

\* Always turn the power switch ① to "OFF" before changing the battery or connecting an AC adaptor.



### TILT SLIT

The tuner can be tilted back by using the slit in the rear panel. Insert a coin or similar flat object into the slit and tilt back as shown in the diagram below.



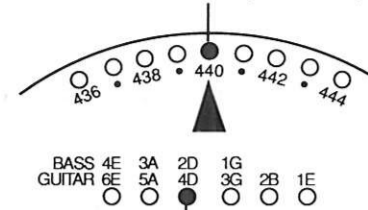
### TUNING PROCEDURES

#### Auto Tuning (AUTO)

In AUTO mode, the tuner will automatically select the note closest to the tone input for tuning. This is convenient for tuning during musical performances.

- For electric guitars and basses, connect the guitar cord to the INPUT jack ⑦. (At this time, the OUTPUT jack ⑧ can be connected to an amplifier in preparation for tuning during a performance.) For acoustic guitars, place the guitar sound hole near the built-in microphone ⑥.
- \* The built-in microphone ⑥ cannot be used when there is a plug in the INPUT jack ⑦.
- Turn the power switch ① to the "AUTO" position.
- If desired, press the pitch switch ④ to select the standard A4 pitch. (Refer to the Pitch Selection section for details.)
- Pluck the string to be tuned. The appropriate indicator ③ will light up for the tuning note. (Do not pluck two or more strings at the time.)
- If the wrong indicator light is on, adjust the guitar tuning peg until the correct light comes on.
- Adjust the guitar tuning peg until the pitch indicator ② only at the center (440) light up.
- Repeat steps 4 through 6 to tune the other strings.

The "440" indicator only should light up.

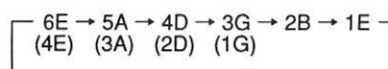


The appropriate indicator for the plucked tuning note should light up.

#### Manual Tuning (MANL.)

In MANL. mode, each note must be individually selected as needed. This mode is most commonly used to tune instruments before musical performances.

- Similar to AUTO mode, connect the electric guitar or bass cord to the INPUT jack ⑦. For acoustic guitars, place the guitar sound hole near the built-in microphone ⑥.
- Turn the power switch ① to the "MANL." position.
- If desired, press the pitch switch ④ to select the standard A4 pitch. (Refer to the Pitch Selection section for details.)
- Press the note switch ⑤ to select the desired tuning note. The indicators ③ for the tuning notes will light in sequence (as shown in the pattern right) each time the note switch is pressed.
- Pluck the string to be tuned and adjust the guitar tuning peg until the pitch indicator ② only at the center (440) lights up.
- Repeat steps 4 and 5 to tune the other strings.



### PITCH SELECTION

Recently, it has become common to slightly raise the standard pitch when tuning musical instruments. The standard pitch also depends on the region and the era. To conform to the current standard and to harmonize with other instruments, the standard pitch must be changed from time to time.

#### Pitch Selection Method

- Turn the power switch ① to the "MANL." or "AUTO" position.
- Press the pitch switch ④ once to enter pitch selection mode. An pitch indicator ② will flash at one of the standard pitch settings (A4: 436 — 444 Hz).
- While the pitch indicator ② is flashing, press the pitch switch ④. The pitch indicators ② will flash in sequence (as shown in the pattern below) each time the pitch switch ④ is pressed. Each pitch indicator ② step represents a 1 Hz change in standard pitch.



- Select the desired standard pitch. When the pitch switch ④ has not been pressed for about 2 seconds, the tuner will automatically return to tuning mode.

\* The standard pitch set as above is effective in both "AUTO" and "MANL." modes unless the power switch ① is turned "OFF". If the power switch ① is turned from "OFF" to "AUTO" or "MANL.", the standard pitch will be reset at 440 Hz and the pitch indicator will be flashing for about two seconds.

Once the standard pitch (A4) is set, you have only to tune each note until the pitch indicator ② only at the center (440) lights up.

THIS DIGITAL APPARATUS DOES NOT EXCEED THE "CLASS B" LIMITS FOR RADIO NOISE EMISSIONS FROM DIGITAL APPARATUS SET OUT IN THE RADIO INTERFERENCE REGULATION OF THE CANADIAN DEPARTMENT OF COMMUNICATIONS.

### FCC INFORMATION (U.S.A.)

- IMPORTANT NOTICE: DO NOT MODIFY THIS UNIT!**  
This product, when installed as indicated in the instructions contained in this manual, meets FCC requirements. Modifications not expressly approved by Yamaha may void your authority, granted by the FCC, to use the product.
  - IMPORTANT:** When connecting this product to accessories and/or another product use only high quality shielded cables. Cable/s supplied with this product MUST be used. Follow all installation instructions. Failure to follow instructions could void your FCC authorization to use this product in the USA.
  - NOTE:** This product has been tested and found to comply with the requirements listed in FCC Regulations, Part 15 for Class "B" digital devices. Compliance with these requirements provides a reasonable level of assurance that your use of this product in a residential environment will not result in harmful interference with other electronic devices. This equipment generates/uses radio frequencies and, if not installed and used according to the instructions found in the users manual, may cause interference harmful to the operation of other electronic devices. Compliance with FCC regulations does not guarantee that interference will not occur in all installations. If this product is found to be the source of interference, which can be determined by turning the unit "OFF" and "ON", please try to eliminate the problem by using one of the following measures:  
Relocate either this product or the device that is being affected by the interference.  
Utilize power outlets that are on different branch (circuit breaker or fuse) circuits or install AC line filter/s.  
In the case of radio or TV interference, relocate/reorient the antenna. If the antenna lead-in is 300 ohm ribbon lead, change the lead-in to co-axial type cable.  
If these corrective measures do not produce satisfactory results, please contact the local retailer authorized to distribute this type of product. If you can not locate the appropriate, please contact Yamaha Corporation of America, Electronic Service Division, 6600 Orangethorpe Ave, Buena Park, CA 90620
- The above statements apply ONLY to those products distributed by Yamaha Corporations of America or its subsidiaries.

# YAMAHA

## ACCORDEUR AUTOMATIQUE DE GUITARE/BASSE

# YT-1200

### MODE D'EMPLOI

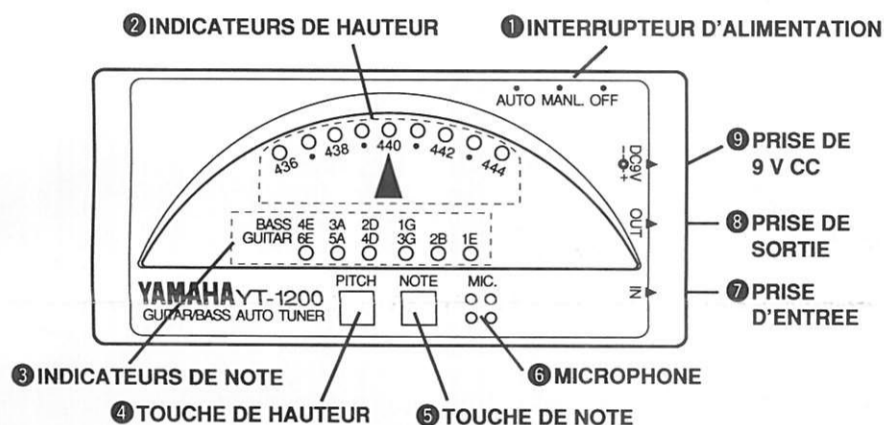
Nous vous remercions d'avoir porté votre choix sur l'accordeur automatique de guitare/basse YAMAHA YT-1200.

Nous vous prions de lire attentivement ce mode d'emploi et de le conserver en lieu sûr pour toute référence future.

### ■ PRECAUTIONS

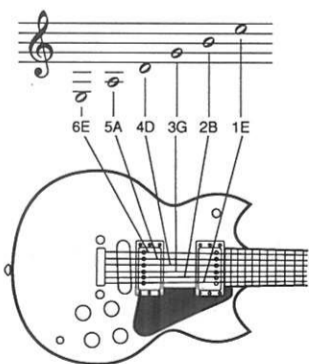
- ◆ Afin de ne pas endommager l'accordeur ne pas l'utiliser dans des endroits soumis aux conditions suivantes:
  - plein soleil;
  - humidité ou températures excessives;
  - sable ou poussière.
- ◆ Pour alimenter l'accordeur, utiliser une pile sèche 6F22 ou 006P de 9 volts ou un adaptateur secteur en option YAMAHA AC-05G ou AC-320G.
  - \* Avant de brancher, vérifier que la polarité de la fiche et celle de la prise correspondent (- ⊕ -).
  - \* Le témoin de hauteur situé à l'extrême gauche reste allumé tant que l'interrupteur d'alimentation n'est pas mis sur la position OFF.
- ◆ Pour prolonger au maximum la durée de vie de la pile, toujours mettre l'accordeur hors tension lorsqu'il n'est pas utilisé.
- ◆ Pour prévenir tout endommagement éventuel de l'accordeur dû à une fuite du liquide de la pile, enlever la pile lorsque l'accordeur ne doit pas être utilisé pendant une période prolongée.
- ◆ Ne pas soumettre l'accordeur à des chocs ou à des vibrations importantes. Ne jamais le manipuler avec une force excessive.
- ◆ Ne jamais utiliser de solvants, tels que de la benzine ou un diluant, pour nettoyer l'accordeur. L'essuyer avec un chiffon propre et sec.

### ■ ORGANES



### ■ FICHE TECHNIQUE

Indicateurs	: Indicateurs de NOTE, Indicateurs de HAUTEUR
Notes d'accord	: guitare 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E basse 4E, 3A, 2D, 1G
Précision du VU-mètre	: ± 1 centième
Plage de hauteur standard	: A4 — 436 Hz à 444 Hz (pas de 1 Hz)
Fonction supplémentaire	: Contrôle de la pile
Prises	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Alimentation	: Pile sèche de 9V (006P ou 6F22) ou adaptateur secteur YAMAHA (AC-05G ou AC-320G)
Dimensions (L x H x P)	: 127 x 63 x 28,5 mm
Poids	: 127 g avec pile
Accessoires	: Pile sèche de 9 V (6F22) x 1



\* Les spécifications et l'aspect externe peuvent être modifiés sans aucun avis.

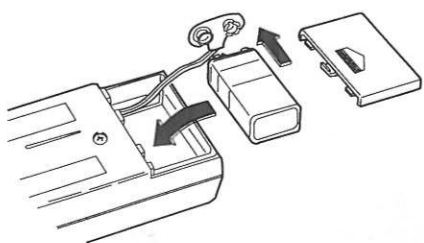
### ■ CONTROLE DE LA PILE

Le fait que les indicateurs de hauteur 2 situés aux deux extrémités clignotent pendant que l'accordeur est utilisé indique qu'il est nécessaire de changer la pile. Dans un tel cas, remplacer la pile par une neuve (6F22:006P-9V) le plus tôt possible. Pour des raisons de commodité, l'accordeur est pourvu d'une prise 9 V CC; utiliser un adaptateur secteur YAMAHA (AC-05G ou AC-320G) chaque fois que possible.

#### • Remplacement de la pile

Le logement de la pile est situé au dos de l'accordeur. Retirer la pile usée et la remplacer par une pile neuve du même type. Faire très attention de placer la pile en respectant les polarités.

\* Toujours mettre l'interrupteur POWER 1 sur la position "OFF" avant de remplacer la pile ou de connecter un adaptateur secteur.



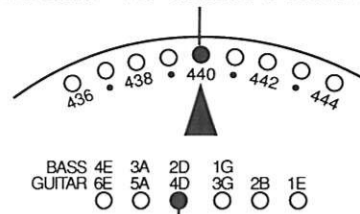
### ■ MARCHE A SUIVRE

#### • Accord automatique (AUTO)

En mode AUTO, l'accordeur sélectionne automatiquement la note la plus proche de la tonalité d'entrée pour réaliser l'accord. Ceci est particulièrement commode pour accorder pendant une représentation.

1. Brancher le cordon de la guitare ou de la basse à la prise INPUT 7 (la prise OUTPUT 8 peut alors être connectée à un amplificateur afin de pouvoir accorder en cours de représentation). Dans le cas d'une guitare acoustique, placer l'ouverture près du micro intégré 6.
- \* Le micro intégré 6 ne peut pas être utilisé lorsque la prise INPUT 7 est utilisée.
2. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER 1 sur la position "AUTO".
3. Si besoin est, appuyer sur la touche PITCH 4 pour sélectionner la hauteur standard A4 (se reporter à "Sélection de la hauteur" pour plus de détails).
4. Pincer la corde à accorder. L'indicateur 3 approprié s'allume pour la note d'accord (ne pas pincer plus d'une corde à la fois).
5. Si l'indicateur qui s'allume n'est pas le bon, accorder jusqu'à ce que le bon indicateur s'allume.
6. Continuer à accorder la guitare jusqu'à ce que l'indicateur de hauteur 2 central (440 Hz) soit le seul allumé.
7. Refaire les opérations 4 à 6 pour les autres cordes.

L'indicateur "440" doit être le seul allumé.



L'indicateur correspondant à la note d'accord pincée doit s'allumer.

#### • Accord manuel (MANL.)

En mode MANL., chaque note doit être sélectionnée individuellement chaque fois que nécessaire. Cette méthode est la plus couramment utilisée pour accorder un instrument avant une représentation.

1. Comme dans le cas du mode AUTO, brancher le cordon de la guitare ou de la basse électrique à la prise INPUT 7. Dans le cas d'une guitare acoustique, placer l'ouverture près du micro intégré 6.
2. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER 1 sur la position "MANL."
3. Si besoin est, appuyer sur la touche PITCH 4 pour sélectionner la hauteur standard A4 (se reporter à "Sélection de la hauteur" pour plus de détails).
4. Appuyer sur la touche NOTE 5 pour sélectionner la note d'accord souhaitée. Les indicateurs 3 de note d'accord s'allument l'un après l'autre (dans l'ordre indiqué ci-après) à chaque pression de la touche NOTE.
5. Pincer la corde et continuer à accorder la guitare jusqu'à ce que l'indicateur de hauteur 2 central (440 Hz) soit le seul allumé.
6. Refaire les opérations 4 et 5 pour les autres cordes.

6E → 5A → 4D → 3G → 2B → 1E  
(4E) (3A) (2D) (1G)

### ■ SELECTION DE LA HAUTEUR

Il est devenu habituel d'élever légèrement la hauteur standard pour accorder un instrument musical. La hauteur standard varie également selon les pays et les époques. Pour être conforme au goût du jour et s'harmoniser avec d'autres instruments, la hauteur standard doit être modifiée de temps en temps.

#### • Mode de sélection de la hauteur

1. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER 1 sur la position "AUTO" ou "MANL."
2. Appuyer une fois sur la touche PITCH 4 pour activer le mode de sélection de hauteur. Un des indicateurs 2 correspondant à une hauteur standard (A4: 436 à 444 Hz) clignote.
3. Pendant que l'indicateur 2 clignote, appuyer sur la touche PITCH 4. Les indicateurs 2 clignent l'un après l'autre (dans l'ordre indiqué ci-après) à chaque pression de la touche PITCH 4. Chaque indicateur 2 représente une modification de la hauteur standard de 1 Hz.
4. Sélectionner la hauteur standard souhaitée. Si la touche PITCH 4 n'est pas sollicitée dans les 2 secondes environ, l'accordeur revient automatiquement au mode d'accord.

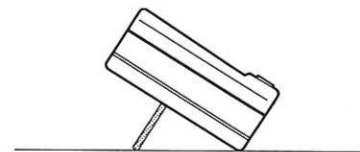
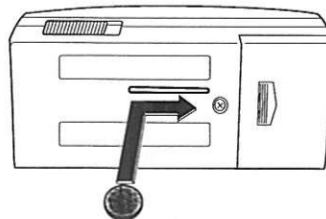
436 → 437 → 438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444

\* La hauteur standard sélectionnée de la manière précédente est effective en mode "AUTO" et en mode "MANL.", à moins que l'interrupteur POWER 1 ne soit mis sur la position "OFF". Si l'interrupteur POWER 1 est mis de la position "OFF" à la position "AUTO" ou "MANL.", la hauteur standard de 440 Hz est automatiquement rétablie et l'indicateur clignote pendant environ 2 secondes.

Une fois que la hauteur standard (A4) a été réglée, il suffit d'accorder chaque corde jusqu'à ce que l'indicateur de hauteur 2 central (440) soit le seul allumé.

### ■ FENTE D'INCLINAISON

L'accordeur peut être maintenu incliné en utilisant la fente du panneau arrière. Introduire une pièce de monnaie, ou autre objet plat similaire, dans la fente et incliner l'accordeur de la manière illustrée.



LE PRESENT APPAREIL NUMERIQUE N'EMET PAS DE BRUITS RADIOELECTRIQUES DEPASSANT LES LIMITES APPLICABLES AUX APPAREILS NUMERQUES DE LA "CLASSE B" PRESCRITES DANS LE REGLEMENT SUR LE BROUILLAGE RADIOELECTRIQUE EDICTE PAR LE MINISTERE DES COMMUNICATIONS DU CANADA.

# YAMAHA

## ELEKTRONISCHES GITARREN/BASS-STIMMGERÄT

# YT-1200

### BEDIENUNGSANLEITUNG

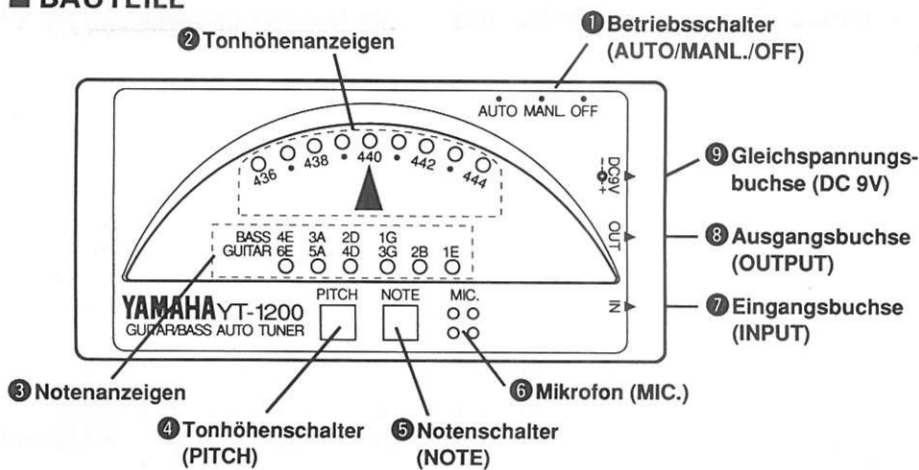
Vielen Dank für den Kauf des elektronischen Gitarren/Baß-Stimmgeräts YT-1200 von Yamaha.

Bitte lesen Sie sich diese Anleitung vor Gebrauch durch und bewahren Sie sie dann zur späteren Bezugnahme an einem sicheren Ort auf.

### ■ VORSICHTSMASSNAHMEN

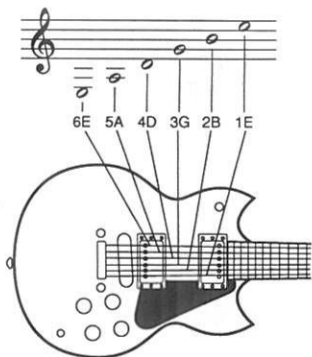
- Das Gerät vor den nachfolgenden Einflüssen schützen, um Schäden zu verhindern:
  - Direkte Sonneneinstrahlung
  - Extreme Temperaturen oder Feuchtigkeit
  - Übermäßiger Staub.
- Zum Betrieb des YT-1200 nur eine 9 V Batterie der Kennung 6F22 oder 006P bzw. den getrennt erhältlichen Yamaha Netzadapter AC-05G oder AC-320G verwenden. Andere Stromquellen können zu Schäden führen.
  - Vor dem Anschluß des Netzadapters sicherstellen, daß die Polarität des Steckers mit der der Buchse übereinstimmt (— ⊕ — +).
  - Die Tonhöhenanzeige ganz links leuchtet, wenn das Gerät eingeschaltet ist.
- Das Gerät nach Gebrauch stets ausschalten, um die Batterie zu schonen.
- Vor längerem Nichtgebrauch die Batterie entfernen, um Schäden durch womöglich lecke Batterien zu verhindern.
- Vor Stoß und Schlag schützen. Keinesfalls mit Gewalt handhaben.
- Zum Reinigen keinesfalls Benzin oder Verdünnern verwenden. Mit einem trockenen, sauberen Tuch abwischen.

### ■ BAUTEILE



### ■ TECHNISCHE DATEN

Anzeigen	: Notenanzeigen, Tonhöhenanzeigen
Stimmnoten	: E-Gitarre 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E Baß 4E, 3A, 2D, 1G
VU-Meterpräzision	: ±1 Cent
Bezugstonhöhenbereich	: A4= 436 Hz — 444 Hz (1 Hz Schritte)
Zusatzfunktion	: Batterieprüfung
Buchsen	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Stromversorgung	: 9V Trockenzelle (006P oder 6F22) oder YAMAHA Netzadapter (AC-05G oder AC-320G)
Abmessungen (WxHxD)	: 127 x 63 x 28,5 mm
Gewicht	: 127 g mit Batterie
Zubehör	: 9V Batterie (6F22) x 1



\* Änderungen an Daten und Design vorbehalten.

### ■ BATTERIEPRÜFUNG

Wenn die Tonhöhenanzeigen 2 an den beiden Skalenden blinken, ist die Batterie verbraucht. Die Batterie sollte in diesem Fall so schnell wie möglich durch eine frische ersetzt werden (6F22:006P-9V). Das YT-1200 verfügt außerdem über eine DC 9V Buchse, damit ein getrennt erhältlicher Yamaha Netzadapter (AC-05G oder AC-320G) zum Betreiben des Geräts verwendet werden kann.

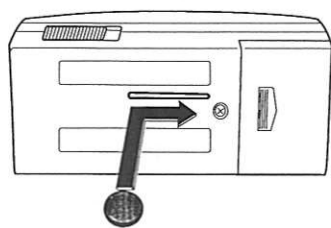
#### • Batteriewechsel

Das Batteriefach befindet sich auf der Rückseite. Die alte Batterie durch eine neue des gleichen Typs austauschen. Beim Anschließen der Batterie auf korrekte Polung achten.

\* Vor dem Wechseln der Batterie den Betriebsschalter 1 unbedingt auf OFF stellen.

### ■ KIPPSCHLITZ

Das YT-1200 weist einen Schlitz auf der Rückseite auf, wodurch es nach hinten gekippt werden kann. Eine Münze o.ä. in den Schlitz einführen und das Gerät nach hinten kippen, wie gezeigt.



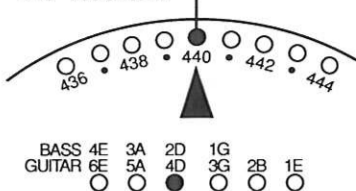
### ■ STIMMVORGANG

#### • Automatisches Stimmen

In der AUTO-Betriebsart wählt das Stimmgerät automatisch die dem Eingabeton am nächsten liegende Note. Dies ist besonders praktisch während Live-Konzerten.

- Die E-Gitarre oder den Baß an die INPUT-Buchse 7 anschließen. (Die OUTPUT-Buchse 8 kann zur Vorbereitung bereits mit einem Verstärker verbunden sein.) Bei akustischen Gitarren das Schalloch möglichst nahe an das Mikrophon 6 bringen.
  - \* Bei beschalteter INPUT-Buchse 7 funktioniert das Mikrophon 6 nicht.
- Den Betriebsschalter 1 in die Stellung AUTO schieben.
- Falls gewünscht, mit der PITCH-Taste 4 die Bezugstonhöhe für den Ton A4 wählen. (Einzelheiten, siehe unter Wahl der Bezugstonhöhe).
- Die zu stimmende Saite anschlagen. Die entsprechende Notenanzeige 3 leuchtet dadurch auf. (Keinesfalls mehr als eine Saite anschlagen).
- Falls die falsche Notenanzeige aufleuchtet, am Stimmwirbel der Gitarre drehen, bis die korrekte Note angezeigt wird.
- Am Stimmwirbel drehen, bis lediglich die mittlere (440) der Tonhöhenanzeigen 2 leuchtet.
- Die Schritte 4 bis 6 zum Stimmen der restlichen Saiten wiederholen.

Es sollte nur die Tonhöhenanzeige "440" leuchten.



Die Notenanzeige der angeschlagenen Saite muß leuchten.

#### • Manuelles Stimmen (MANL.)

In der MANL.-Betriebsart müssen die Noten zum Stimmen einzeln gewählt werden. Diese Stimmbetriebsart empfiehlt sich besonders vor Konzerten.

- Wie beim AUTO-Stimmvorgang die E-Gitarre oder den Baß an die INPUT-Buchse 7 anschließen. Bei akustischen Gitarren das Schalloch möglichst nahe an das Mikrophon 6 bringen.
- Den Betriebsschalter 1 in die Stellung MANL. schieben.
- Falls gewünscht, mit der PITCH-Taste 4 die Bezugstonhöhe für den Ton A4 wählen. (Einzelheiten, siehe unter Wahl der Bezugstonhöhe).
- Mit der NOTE-Taste 5 die zu stimmende Note wählen. Die Taste so oft antippen, bis die Notenanzeige 3 für die zu stimmende Noten aufleuchtet.
- Die zu stimmende Saite anschlagen und dabei am Stimmwirbel drehen, bis lediglich die mittlere (440) der Tonhöhenanzeigen 2 leuchtet.
- Die Schritte 4 bis 5 zum Stimmen der restlichen Saiten wiederholen.

6E → 5A → 4D → 3G → 2B → 1E  
(4E) (3A) (2D) (1G)

### ■ WAHL DER BEZUGSTONH

In der letzten Zeit wird die Bezugstonhöhe und damit die Tonlage von Instrumenten oft geringfügig angehoben. Die Bezugstonhöhe unterscheidet sich von Region zu Region und Ära zu Ära. Um ein Harmonisieren mit anderen Instrumenten zu erlauben, kann die Bezugstonhöhe und die Tonlage des YT-1200 modifiziert werden.

#### • Wahl der Bezugstonhöhe

- Den Betriebsschalter 1 in die Stellung MANL. oder AUTO schieben.
- Durch Drücken von PITCH 4 auf Tonlagenwahl schalten. Eine Anzeige 2 der Bezugstonhöhe (A4: 436 — 444 Hz) blinkt dadurch.
- Während Blinkens der Anzeige 2, PITCH 4 so oft antippen, bis die gewünschte Tonlagenanzeige für Ton A aufleuchtet (die Reihenfolge ist unten gezeigt). Jede Anzeige 2 repräsentiert hierbei eine Änderung der Bezugstonhöhe um 1 Hz.

436 → 437 → 438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444

- Die gewünschte Tonlage wählen. Wird die PITCH-Taste 4 ca. 2 Sekunden lang nicht betätigt, schaltet das YT-1200 automatisch auf Stimmbetrieb.

\* Die eingestellte Bezugstonhöhe bleibt für beide Betriebsarten ("AUTO" und "MANL.") gespeichert, bis der Betriebsschalter 1 zum Ausschalten auf "OFF" gestellt wird. Wenn der Betriebsschalter 1 danach erneut von "OFF" auf "AUTO" bzw. "MANL." gestellt wird, gibt das Gerät als Bezugstonhöhe wieder 440 Hz vor, wobei die Tonhöhenanzeige etwa zwei Sekunden lang blinkt.

Nach Einstellen der Bezugstonhöhe (A4) brauchen die einzelnen Saiten nur so gestimmt zu werden, daß die mittlere (440) der Tonhöhenanzeigen 2 leuchtet.

### Bescheinigung des Importeurs

Hiermit wird bescheinigt, daß der / die / das

#### GUITAR/BASS AUTO TUNER Typ : YT-1200

Gerät, Typ, Bezeichnung)

in Übereinstimmung mit den Bestimmungen der

VERFÜGUNG 1046/84

(Amtsblattverfügung)

funktentstört ist.

Der Deutschen Bundespost wurde das Inverkehrbringen dieses Gerätes angezeigt und die Berechtigung zur Überprüfung der Serie auf Einhaltung der Bestimmungen eingeräumt.

YAMAHA Europa GmbH

Name des Importeurs

### 無償修理規定

- 正常な使用状態 (取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態) で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参のうえ依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合荷は、最寄りのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - 消耗部品の交換。
  - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。